

資料 1令和 7 年 1 月 30 日
総務消防常任委員会
事務局 総務課**旧灰溶融施設（エコスラグセンター）の解体撤去事業費の概算額について**

令和 7 年度から 8 年度にかけて予定している旧灰溶融施設（エコスラグセンター）の解体撤去事業費について、現在実施中の設計業務において設計した概算額を報告いたします。

1 解体撤去事業費の概算額

【千円】

	概算額	市町村圏計画の計画額 (R1 推計)	計画額からの増
工事費	972,730	830,000	+142,730 (17.2%増)
施工監理業 務委託費	16,736	12,000	+4,736 (39.5%増)
合計	989,466	842,000	+147,466 (17.5%増)

※ 上記は、現時点の概算設計額であり、設計業務の工期末（令和 7 年 3 月 14 日）までに変動する可能性がある。

【市町村圏計画の計画額から増額となった理由】

市町村圏計画の計画額は、令和元年度に確認した同規模施設の解体撤去費を参考に推計を行ったもので、解体撤去に係る物価、労務費等も 5 年以上前のものがベースとなっている。

この度、設計業務において、施設の構造を精査し、詳細な設計を行ったこと、また、最新の物価、労務費を反映したことから、推計額から増額となったものと考えられる。

2 解体撤去事業費の財源

解体撤去事業の財源には『公共施設等適正管理推進事業債（除却事業）（交付税措置なし、充当率 90%）』を充てる。

※ 公共施設等適正管理推進事業債を充てた場合の市町村負担金の試算額は別紙のとおり

3 今後の予定

令和 7 年 2 月 21 日 組合議会定例会（当初予算案の上程）

3 月 14 日 設計業務委託終了

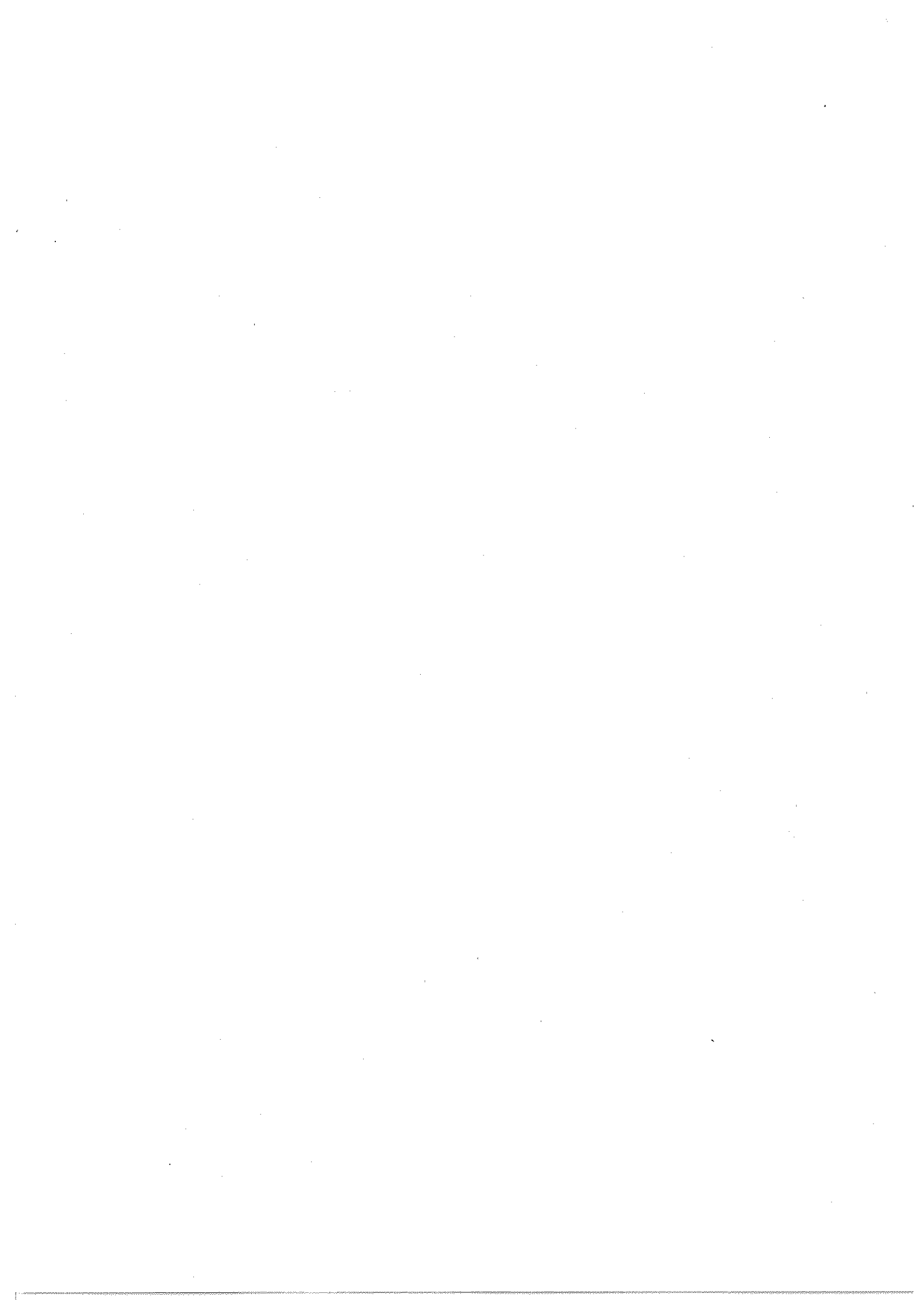
4 月以降 解体撤去工事、施工監理業務委託の入札

8 月下旬 組合議会臨時会（解体撤去工事の契約締結の議案上程）

9 月～ 解体撤去工事着手

（工期 19 か月程度）

令和 9 年 3 月下旬 解体撤去工事完了



資料1別紙

令和7年1月30日
総務消防常任委員会
事務局総務課

解体撤去事業費に地方債を充てた場合の市町村負担金の試算

[千円]

市町村名	令和7年度分の事業費 【346,314千円】に対する負担金		令和8年度分の事業費 【643,153千円】に対する負担金		総事業費 【989,467千円】 に対する負担金 ①+②+③+④
	令和7年度 ①	翌年度以降 (償還金) ②	令和8年度 ③	翌年度以降 (償還金) ④	
米子市	18,537	166,832	34,426	309,830	529,624
境港市	47,176	一括払い希望 償還金なし	87,612	一括払い希望 償還金なし	134,787
日吉津村	1,191	10,716	2,211	19,902	34,020
大山町	2,623	23,608	4,871	43,842	74,944
南部町	20,136	一括払い希望 償還金なし	37,394	一括払い希望 償還金なし	57,530
伯耆町	20,606	一括払い希望 償還金なし	38,269	一括払い希望 償還金なし	58,875
日南町	1,277	11,489	2,371	21,337	36,474
日野町	1,121	10,093	2,083	18,744	32,041
江府町	1,091	9,819	2,026	18,235	31,170
合計	113,757	232,557	211,263	431,890	989,467

※ 各年度の事業費は、工事の出来高見込み率（令和7年度35%、令和8年度65%）により算出。

※ 負担割合は、「施設の建設及びそれに係る起債の償還に要する経費」により試算。

【鳥取県西部広域行政管理組合分賦金条例 別表第4（抜粋）】

経費の区分	負担割合
2 不燃物処理施設及びごみ焼却施設の設置並びに不燃物処理施設の管理運営に関する事務に係る経費	人口割 80%
	均等割 20%
	溶融処理実績割 80%
	均等割 20%

旧灰溶融施設の解体経費は、施設を解体するために発生する一度限りの費用（イニシャルコスト）であり、施設の建設に要する経費に類する経費であるため「(1) 施設の建設及びそれに係る起債の償還に要する経費」の区分の負担割合としたもの。

※ 地方債の充当は10万円単位のため実際の負担額とは異なる場合がある。

※ 地方債償還金には上記に加え、借入利率に応じた利子の負担が必要となる。（償還期間は10年を想定）



退職積立基金の効率的な運用のための市町村負担金の納期の変更
について（案）

1 経緯

本組合の歳入の約 80%（令和 5 年度実績）を占める市町村負担金について、その納期は、組合分賦金条例第 5 条により、第 1 期（5 月 1 日から 5 月 31 日まで）、第 2 期（8 月 1 日から 8 月 31 日まで）、第 3 期（11 月 1 日から 11 月 30 日まで）、第 4 期（3 月 1 日から 3 月 25 日まで）の年 4 期となっているが、市町村負担金の納期の間において資金不足が生じることから、退職積立基金からの一時借入で対応しているため、基金を運用している定期預金の期間を短期間とし、満期となった後一時借入金として資金に充て、一時借入終了後は再び預金することを繰り返しており、基金の長期の運用が難しい状況である。

この度、市町村負担金について納期を変更する試算を行ったところ、現状の 4 回を 6 回（偶数月：最終納期については構成市町村の補正予算対応を考慮し、これまでどおり 3 月）に変更した場合、一時借入金の額及び一時借入れの回数がともに減少する結果となったことから、市町村負担金の納期を変更する方針。

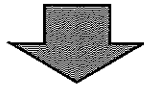
2 試算について

令和 3 年度から令和 5 年度の 3 か年間における収支実績を基に、年 6 回の納期で試算を行い、現行の年 4 回との比較を行った。

ただし、各市町村に意見聴取を行ったところ、負担割合について、年 6 回にした場合、1 回あたりの負担金の額が下がることにより平準化されるのでよいとの意見があった一方、4 月の負担割合は可能であれば均等割合（16.67%）より下げてほしい、3 月は他の月より負担率を下げてほしいとの意見があったため、平準化を大きく崩さない範囲で可能なかぎり 4 月の負担割合を下げ、4 月 13.5%、6 月・8 月・10 月・12 月・3 月 17.3% の割合にて試算を行った。（3 月は清算のため市町村負担金の金額が少なくなる傾向）

3 現状と試算結果との比較（一時借入金の状況）

項目		R3	R4	R5
年度当初退職積立基金残高（千円）		1,524,820	1,397,387	1,258,837
年度中の一時借入金 の累計額（千円）	現行（年 4 回）	1,509,689	1,112,608	2,068,290
	変更案 （年 6 回）	357,677	134,893	582,208
一時借入金最高額 （千円）	現行（年 4 回）	549,689	438,349	799,730
	変更案 （年 6 回）	221,137	134,893	478,530
一時借入金の回数 （回/年）	現行（年 4 回）	9	13	20
	変更案 （年 6 回）	5	2	4



【試算結果を基にした変更案】

4月の負担割合を13.5%に下げ、年6回の納期に変更し試算したが、一時借入の回数・額ともに大きく下がることとなったため、この案で納期を変更するべく、令和7年2月議会にて組合分賦金条例の改正案を上程する予定。

※ 別紙に参考として市町村負担金の納期別の額と負担割合について、令和5年度実績による「現行」、「変更案」、「年6回（均等）」のケース毎の試算を添付。

4 今後のスケジュール

- 令和7年1月30日 組合議会臨時会において納期変更案について報告
- 令和7年2月12日 正副管理者会議において「鳥取県西部広域行政管理組合分賦金条例」改正案の協議
- 令和7年2月21日 組合議会定例会において「鳥取県西部広域行政管理組合分賦金条例」改正案を上程
- 令和7年度～ 新しい負担金納期の適用

《参考1》退職積立基金の運用方法の違いによる比較

【1億円を運用した場合のシミュレーション】

	定期預金 (A)	地方債 (B)	差額 (B-A)
5年	100,525千円	104,080千円	3,555千円
10年	101,050千円	111,760千円	10,710千円

※ 利率を定期預金：0.105%、地方債：0.816%（5年）、1.176%（10年）として試算。

《参考2》鳥取県内3広域の市町村負担金の納期と負担割合

	市町村負担金の納期	負担割合
東部広域	4月、6月、8月、10月、12月、2月 (年6回偶数月)	設定なし
中部広域連合	4月、6月、8月、10月、12月、2月 (年6回偶数月)	16.67%（6回均等）
西部広域	5月、8月、11月、3月（年4回）	20%：5月、30%：8月、25%：11月、 25%：3月

市町村負担金の納期別の額と負担割合について（令和5年度実績による試算）

【現行】年4回 (単位：千円)

	負担金額	第1期5月 20%	第2期8月 30%	第3期11月 25%	第4期3月 25%
1 米子市	2,382,280	476,400	714,600	595,500	595,780
2 境港市	480,587	96,400	144,100	120,100	119,987
3 日吉津村	115,945	23,100	34,700	28,900	29,245
4 大山町	341,223	68,200	102,300	85,300	85,423
5 南部町	244,658	48,900	73,300	61,100	61,358
6 伯耆町	260,202	52,000	78,000	65,000	65,202
7 日南町	150,145	30,000	45,000	37,500	37,645
8 日野町	105,199	21,000	31,500	26,200	26,499
9 江府町	101,238	20,200	30,300	25,300	25,438
合計	4,181,477	836,200	1,253,800	1,044,900	1,046,577

○ 一時借入金累計額：2,068,290千円、一時借入最高額：799,730千円、一時借入回数：20回

○ 濃縮水処理施設に係る貸付金に関する負担金を除く

【案】年6回 (第1期の負担割合を16.67%から13.5%に低減、第2期以降を16.67%から17.3%に設定) (単位：千円)

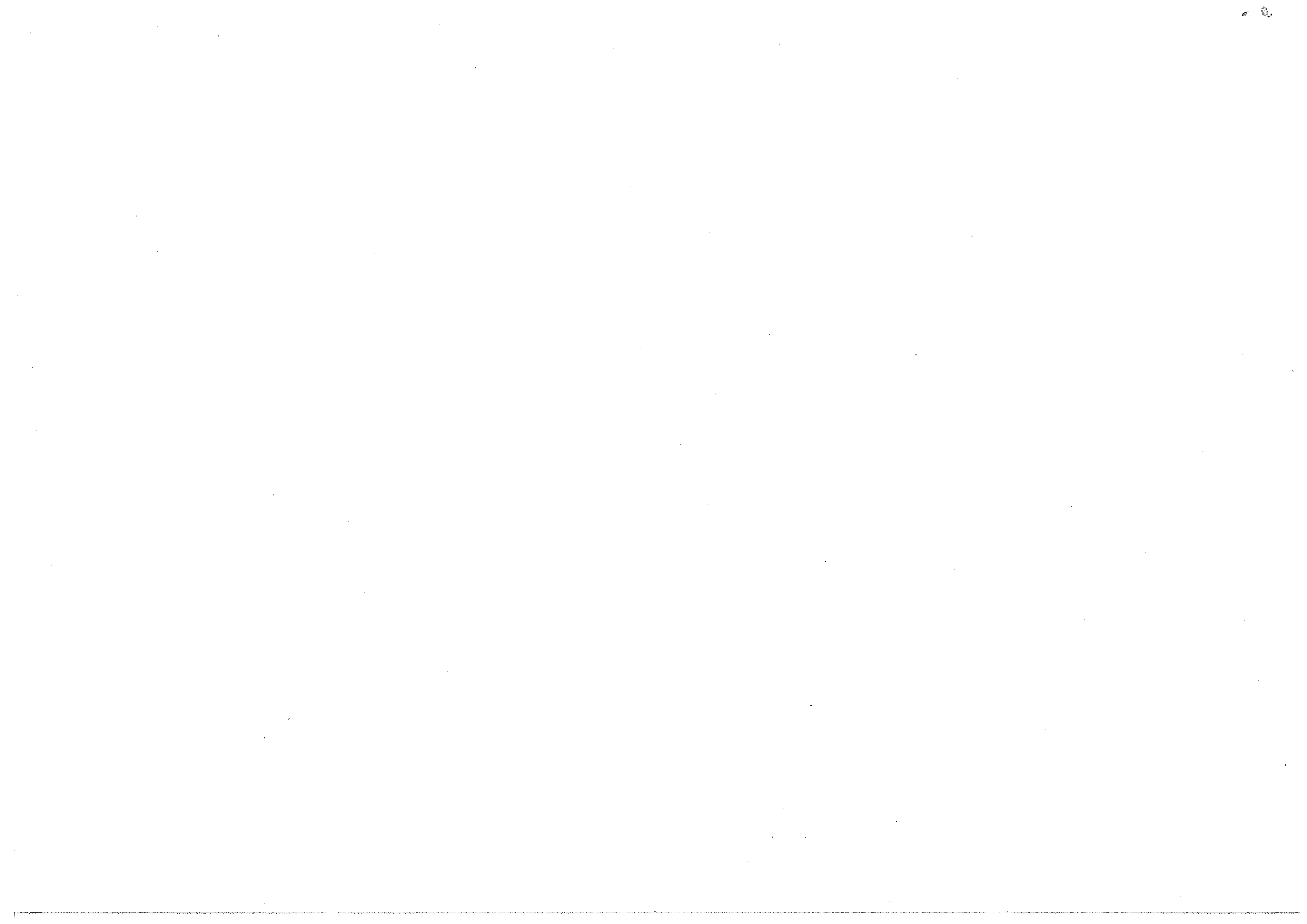
	負担金額	第1期4月 13.5%	第2期6月 17.3%	第3期8月 17.3%	第4期10月 17.3%	第5期12月 17.3%	第6期3月 17.3%
1 米子市	2,382,280	321,600	412,100	412,100	412,100	412,100	412,280
2 境港市	480,587	64,800	83,100	83,100	83,100	83,100	83,387
3 日吉津村	115,945	15,600	20,000	20,000	20,000	20,000	20,345
4 大山町	341,223	46,000	59,000	59,000	59,000	59,000	59,223
5 南部町	244,658	33,000	42,300	42,300	42,300	42,300	42,458
6 伯耆町	260,202	35,100	45,000	45,000	45,000	45,000	45,102
7 日南町	150,145	20,200	25,900	25,900	25,900	25,900	26,345
8 日野町	105,199	14,200	18,100	18,100	18,100	18,100	18,599
9 江府町	101,238	13,600	17,500	17,500	17,500	17,500	17,638
合計	4,181,477	564,100	723,000	723,000	723,000	723,000	725,377

○ 一時借入金累計額：582,208千円、一時借入最高額：478,530千円、一時借入回数：4回

【参考】年6回 (各期の負担割合を均等(16.67%)とした場合) (単位：千円)

	負担金額	第1期4月 16.67%	第2期6月 16.67%	第3期8月 16.67%	第4期10月 16.67%	第5期12月 16.67%	第6期3月 16.67%
1 米子市	2,382,280	397,100	397,100	397,100	397,100	397,100	396,780
2 境港市	480,587	80,100	80,100	80,100	80,100	80,100	80,087
3 日吉津村	115,945	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,445
4 大山町	341,223	56,800	56,800	56,800	56,800	56,800	57,223
5 南部町	244,658	40,700	40,700	40,700	40,700	40,700	41,158
6 伯耆町	260,202	43,300	43,300	43,300	43,300	43,300	43,702
7 日南町	150,145	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,145
8 日野町	105,199	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	17,699
9 江府町	101,238	16,800	16,800	16,800	16,800	16,800	17,238
合計	4,181,477	696,600	696,600	696,600	696,600	696,600	698,477

○ 一時借入金累計額：475,608千円、一時借入最高額：451,630千円、一時借入回数：4回



資料 3

令和 7 年 1 月 3 0 日
総務消防常任委員会
消 防 局 総 務 課

火災・救急統計について

令和 7 年 1 月

鳥取県西部広域行政管理組合消防局



火災概況

1 市町村別火災状況(P2)

(令和6年12月中の火災については調査中のものもあり速報値を記載)

令和6年中の火災件数は74件で、前年と比較し17件減少しました。そのうち、建物火災は35件で前年と比較し3件減少、林野火災は1件で1件増加、車両火災は6件で4件増加、船舶火災は0件で1件減少、その他火災は32件で18件減少しました。

市町村別に前年と比較し、米子市11件減、境港市2件減、日吉津村1件減、大山町同件数、南部町4件減、伯耆町4件増、日南町1件減、日野町同件数、江府町2件減となりました。

火災による死者は6名、負傷者は10名でした。

損害額は1億1,850万9千円で、前年と比較し3億9,751万7千円減少となりました。損害額の減少は、令和5年に大規模な工場火災及び店舗火災が発生したことが主な原因です。

2 出火原因(P2)

出火原因は「たき火」が最も多く21件、次いで「その他」が13件、「電灯等の配線」が6件、「たばこ」が5件となっています。

前年と比較し「ストーブ」、「電灯等の配線」、「放火」が増加、「たばこ」、「たき火」、「その他」による出火原因が減少しました。

「その他」の主なものは、線香、ローソク、ハンドトーチ、グラインダーの火花によるものなどです。

3 過去10年間の市町村別火災状況(P3)

過去10年の火災件数をみると、令和元年までは100件前後で推移していましたが、令和2年からは5年連続で100件以下となり、令和6年は過去10年間で最も火災が少ない年となりました。

4 総評

火災件数74件のうち、建物火災が35件と約47%を占め、その建物火災の半数が住宅火災となっています。また、火災原因では、電灯配線など電気器具類による火災が増加しています。

火災による死者6名は、住宅火災により5名、その他火災により1名発生しており、火災による死者6名のうち5名が65歳以上の高齢者となっています。

近年、火災件数は減少傾向にあるものの、依然、火災による死者が発生していることを鑑み、地域全体での住宅用火災警報器の設置、維持管理を促進するとともに、高齢者に対する効果的な防火広報及び防火指導を実施して、火災による死者“ゼロ”を目指し、地域の防火対策強化に取り組んでまいります。

市町村別火災状況(速報値) (令和6年1月1日～令和6年12月31日)

市町村名	火災件数				焼損面積				焼損被害						死傷者			損害額 (千円)	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	床面積 ㎡	表面積 ㎡	林野	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	り災世帯数	り災人員	死者		負傷者
米子市	36 (-11)	17 (-7)	5 (+3)	0	0	14 (-7)	1,237 (-2,658)	6 (-686)	0	30 (-3)	6 (+2)	3 (-2)	8 (-3)	13 (0)	19 (+1)	42 (+2)	3 (-1)	6 (+1)	76,672 (-344,155)
境港市	7 (-2)	6 (+3)	0	0	(-1)	1 (-4)	194 (+113)	86 (+82)	0	9 (+5)	1 (+1)	1 (0)	2 (0)	5 (+4)	7 (+6)	18 (+17)	0	0	9,267 (+6,959)
日吉津村	0 (-1)	(-1)	0	0	0	0	(-416)	0	0	(-6)	(-2)	(-1)	0	(-3)	(-3)	(-5)	(-1)	0	(-8,294)
大山町	10 (0)	5 (+2)	0	0	0	5 (-2)	332 (+271)	15 (+15)	0	8 (+5)	2 (+2)	1 (+1)	4 (+3)	1 (-1)	5 (+3)	11 (0)	3 (+3)	1 (-1)	13,622 (+240)
南部町	4 (-4)	2 (0)	0	0	0	2 (-4)	(-481)	(-35)	0	2 (-4)	(-3)	0	(-1)	2 (0)	(-5)	(-12)	0	0	945 (-12,913)
伯耆町	8 (+4)	1 (0)	0	1 (+1)	0	6 (+3)	32 (-46)	0	0	1 (0)	(-1)	0	1 (+1)	0	0	0	0	1 (0)	2,041 (+1,997)
日南町	5 (-1)	2 (-1)	0	0	0	3 (0)	198 (-460)	2 (+1)	0	6 (+1)	4 (+1)	1 (-1)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	(-3)	2 (+1)	2,305 (-35,124)
日野町	2 (0)	2 (+2)	0	0	0	(-2)	178 (+178)	0	0	2 (+2)	1 (+1)	0	0	1 (+1)	1 (+1)	2 (+2)	0	0	13,657 (+13,657)
江府町	2 (-2)	(-1)	1 (+1)	0	0	1 (-2)	(-971)	(-25)	144 (+144)	(-12)	(-6)	0	(-4)	(-2)	(-8)	(-15)	0	0	(-19,884)
合計	74 (-17)	35 (-3)	1 (+1)	6 (+4)	(-1)	32 (-18)	2,171 (-4,470)	109 (-648)	144 (+144)	58 (-12)	14 (-6)	5 (-2)	16 (-3)	23 (-1)	34 (-5)	77 (-11)	6 (-2)	10 (+1)	118,509 (-397,517)

() 前年比増減数

前年合計

合計	91	38	0	2	1	50	6,641	757	0	70	20	7	19	24	39	88	8	9	516,026
----	----	----	---	---	---	----	-------	-----	---	----	----	---	----	----	----	----	---	---	---------

出火原因

	合計	たばこ	こんろ	かまど	風呂	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ポイラー	煙突	排気管	電気機器	電気装置	電灯配線	内燃機関	配線器具	火あそび	マッチ等	たき火	溶接機器	灯火	衝突火花	取灰	火入れ	放火	放火疑	その他	不明
令和6年	74	5						3				1	1	1	6	3				21		2				4	1	13	14
令和5年	91	6			1		1						1	1	4		6		1	30		1			1	1	22	15	

過去10年間の市町村別火災状況

	令和6年					令和5年					令和4年					令和3年					令和2年					令和元年 合計	平成30年 合計	平成29年 合計	平成28年 合計	平成27年 合計		
	合計	建物 件	林野 件	車両 件	船舶 件	その他 件	合計	建物 件	林野 件	車両 件	船舶 件	その他 件	合計	建物 件	林野 件	車両 件	船舶 件	その他 件	合計	建物 件	林野 件	車両 件	船舶 件	その他 件								
																									36						17	5
米子市	7	6		1	9	3	6	16	6	2	6	15	6	23	1	1	23	40	23	1		16	46	19	2	25	64	49	62	44		
境港市																																
日吉津村																																
大山町	10	5		5	10	3	9	16	6	1	8	11	5	5			5	11	5	2		4	4	1	1	2	14	8	16	10		
南部町	4	2		2	8	2	6	6	4	1	1	6	2	2	1		2	6	2	1		3	4	1	1	2	5	9	4	7	5	
伯耆町	8	1	1	6	4	1	8	8	2		6	12	6	1	2		3	12	6	1	2	3	4			4	7	4	10	4		
日南町	5	2		3	6	3	6	6	4	1	1	1	1	1			1	1	1	1			3	1	2	3	4	2	4	5		
日野町	2	2		2	2		2	2		1	1	2	2				1	2		1			1		1	4	4	2	2	8		
江府町	2		1	1	4	1	3	1		1		2	1	2			2	1					6	1		5	2	3	3	3		
合計	74	35	1	6	91	38	93	166	35	3	6	247	87	44	4	4	87	44	4	4	4	35	77	29	1	3	119	89	118	94		

救急概況

1 市町村別救急活動状況(P6)

令和6年の救急出動件数は、13,234 件で前年と比較し 44 件の増加となりました。搬送人員は 26 人減少し 12,339 人となりました。

市町村別の出動件数は、米子市が 24 件増、境港市が 20 件増、日吉津村は 31 件増、大山町 51 件増、南部町 26 件減、伯耆町 3 件減、日南町 20 件減、日野町増減なし、江府町 30 件減、圏域外は 3 件の減となりました。

事故種別では、急病が 8,839 件(前年比 109 件増)、一般負傷が 1,909 件(前年比 3 件減)、転院搬送が 1,331 件(前年比 62 件減)、交通事故が 648 件(前年同数)の順となりました。

令和6年は、救急出動件数が微増し、過去最多を更新する状況となりました。増加の要因は、高齢者の急病の増加が顕著であり、基礎疾患の増悪等による救急要請が増加したと考えられます。

2 令和6年(比較令和5年)月別出動(P7)

・ 2月から4月にかけて大幅に救急要請が増加しましたが、これは新型コロナウイルス感染症、インフルエンザウイルス感染症、感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌感染症、RS ウイルス感染症等の感染が拡大し、それに伴う救急搬送が増加したと考察します。

・ 5月以降は減少する月が多くなりました。これは令和6年4月から、とっとりおとな救急ダイヤル(＃7119)及びとっとり子ども救急ダイヤル(＃8000)が平日の日中時間帯も相談可能となり、365 日 24 時間体制で運用されたことが要因と考察します。

3 熱中症年別月別搬送人員(P8)

令和6年の熱中症搬送人員は、前年より 40 人増の 294 人で過去5年間では最も多い搬送者数となりました。令和6年は6月の早い時期から長期に渡り高温の気象状況が継続したため、熱中症の救急件数が増加したと考察します。また、重症例が 11 症例発生し、過去最多の重傷者数となりました。年齢区分で見ると、高齢者の重症化が顕著であり、今後、高温の気象状況下での外出等の危険性を広報する必要があると考えます。

4 過去5年間の市町村別救急活動状況(P9)

救急出動件数は、令和2年に新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しましたが、令和4年には行動制限の緩和による人流が活発化し過去最多の件数となり、令和5年、令和6年と更に増加する状況となりました。

一方で、令和6年の救急搬送人員は減少に転じました。その要因は、救急要請したものの、救急隊到着後に本人や家族により搬送辞退する不搬送事案が増加したことが要因と推測します。

5 総評

令和6年の救急出動件数の増加要因は、高齢者の急病の増加に伴うものと考察します。将来、各市町村の高齢化が進むにつれて、救急件数が増加することが推測されます。

また、地球温暖化にともなう気候変動や、各種感染症の感染拡大に伴い救急件数が大きく増加する可能性もあり、社会情勢を注視するとともに、災害対応体制の堅持に万全を期してまいります。

市町村別救急活動状況(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

市町村名	総数		火災		自然災害		水難		交通		労働災害		運動競技		一般負傷		加害		自損行為		急病		転院搬送		その他		
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数
米子市	8,404 (+24)	7,784 (-32)	17 (-16)	6 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	5 (-2)	1 (-1)	423 (+18)	390 (+5)	57 (-5)	56 (-5)	72 (-17)	74 (-14)	1,197 (+37)	1,142 (+26)	23 (+8)	19 (+4)	63 (+10)	43 (+2)	5,576 (-28)	5,166 (-45)	891 (-11)	867 (-5)	80 (+30)	0 (±0)	
境港市	1,859 (+20)	1,772 (+40)	4 (-4)	0 (±0)	0 (-1)	0 (±0)	5 (±0)	2 (-1)	87 (-3)	85 (-6)	29 (+2)	29 (+2)	8 (-3)	8 (-2)	257 (-6)	252 (-3)	7 (+5)	7 (+6)	12 (+5)	9 (+7)	1,292 (+57)	1,235 (+69)	146 (-34)	145 (-31)	12 (+2)	0 (±0)	
日吉津村	194 (+31)	186 (+30)	0 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	1 (+1)	1 (+1)	12 (+5)	12 (+6)	8 (+6)	8 (+6)	2 (+1)	2 (+1)	31 (+5)	31 (+5)	0 (-1)	0 (±0)	2 (+1)	2 (+1)	132 (+10)	125 (+6)	5 (+4)	5 (+4)	1 (±0)	0 (±0)	
大山町	964 (+51)	899 (+36)	5 (+2)	0 (-2)	2 (+2)	1 (+1)	1 (+1)	1 (+1)	53 (-14)	40 (-22)	17 (+6)	17 (+7)	10 (-3)	10 (-3)	157 (-24)	147 (-28)	0 (-3)	0 (-3)	5 (-5)	5 (-1)	669 (+114)	640 (+115)	38 (-30)	38 (-29)	7 (+5)	0 (±0)	
南部町	502 (-26)	465 (-35)	1 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	17 (±0)	16 (-1)	5 (+1)	5 (+1)	3 (-3)	3 (-4)	70 (-10)	68 (-9)	0 (±0)	0 (±0)	4 (-5)	3 (-3)	388 (+9)	306 (-7)	64 (-13)	64 (-12)	0 (-3)	0 (±0)	
伯耆町	568 (-3)	539 (-5)	2 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	25 (+6)	25 (+7)	5 (-4)	5 (-4)	3 (-8)	3 (-9)	95 (-14)	93 (-14)	0 (±0)	0 (±0)	7 (+5)	5 (+4)	338 (+32)	367 (+30)	42 (-18)	41 (-19)	1 (-3)	0 (±0)	
日南町	324 (-20)	303 (-22)	2 (-1)	0 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (-1)	0 (±0)	8 (-6)	6 (-8)	3 (±0)	3 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	53 (+7)	50 (+4)	0 (±0)	0 (±0)	4 (+4)	3 (+3)	200 (-47)	191 (-40)	51 (+21)	50 (+20)	3 (+3)	0 (±0)	
日野町	208 (±0)	195 (+1)	2 (±0)	0 (±0)	0 (-1)	0 (±0)	1 (+1)	0 (±0)	13 (+1)	14 (+5)	0 (-4)	0 (-3)	0 (±0)	0 (±0)	19 (+1)	18 (+1)	0 (-1)	0 (±0)	0 (-1)	0 (-1)	109 (-8)	100 (-16)	64 (+14)	63 (+15)	0 (-4)	0 (±0)	
江府町	208 (-30)	195 (-37)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	7 (-6)	7 (-7)	4 (+1)	4 (+1)	0 (-1)	0 (-1)	30 (+1)	27 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	1 (-1)	0 (-1)	135 (-28)	127 (-33)	30 (+5)	30 (+5)	1 (±0)	0 (±0)	
圏域外	3 (-3)	1 (-2)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	3 (-1)	1 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (-2)	0 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	
合計	13,234 (+44)	12,339 (-26)	33 (-20)	6 (-2)	2 (±0)	1 (+1)	13 (±0)	5 (±0)	648 (±0)	596 (-22)	128 (-3)	127 (+5)	98 (-34)	100 (-32)	1,909 (-3)	1,828 (-19)	30 (+8)	26 (+7)	98 (+13)	70 (+11)	8,839 (+109)	8,257 (+78)	1,331 (-62)	1,323 (-53)	105 (+30)	0 (±0)	

()は前年比増減数

前年合計

合計	13,190	12,365	53	8	2	0	13	5	648	618	125	122	132	132	1,912	1,847	22	19	85	59	8,730	8,179	1,393	1,376	75	0
----	--------	--------	----	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------	----	----	----	----	-------	-------	-------	-------	----	---

令和6年(比較 令和5年)月別出動

出動件数比較(件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	1,163	941	1,005	870	1,011	1,018	1,299	1,353	1,099	1,087	1,100	1,244	13,190
令和6年	1,100	1,058	1,139	1,016	989	1,061	1,237	1,298	1,020	1,046	1,013	1,257	13,234
比較	-63	117	134	146	-22	43	-62	-55	-79	-41	-87	13	44

搬送人員比較(人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	1,080	888	951	810	958	966	1,218	1,279	1,020	1,028	1,017	1,150	12,365
令和6年	1,021	1,008	1,044	946	945	992	1,165	1,182	964	978	936	1,158	12,339
比較	-59	120	93	136	-13	26	-53	-97	-56	-50	-81	8	-26

熱中症年別月別搬送人員(統計期間:令和2年4月～令和6年10月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	前年比較	重症例 以上
令和2年	0	3	19	26	109	20	0	177	5	重症5
令和3年	0	5	15	65	47	6	6	144	-33	重症5
令和4年	3	14	45	88	65	26	4	245	101	死亡1 重症3
令和5年	3	17	18	110	90	14	2	254	9	死亡2 重症5
令和6年	3	17	32	94	99	49	0	294	40	重症11

R6重症内訳

- 1 ビニールハウス内で倒れているのを発見されたもの。
- 2 畑の草刈り中に倒れているのを発見されたもの。
- 3 暑熱環境下での作業中に痙攣を搬送したものの。
- 4 外出しようとしたところ転倒し動けなくなっているのを発見されたもの。
- 5 自宅寝室で意識状態が悪く救急要請されたもの。
- 6 路上で倒れているのを通行人が発見し救急要請されたもの。
- 7 自宅内で意識状態が悪く救急要請されたもの。
- 8 訪問した知人が意識がない状態で倒れているのを発見したものの。
- 9 畑で倒れているのを家族が発見したものの。
- 10 屋外で倒れているのを発見されたもの。
- 11 作業中に意識レベル低下と全身に痙攣を発生したものの。

- 88歳女性
- 83歳男性
- 54歳男性
- 72歳男性
- 78歳女性
- 不明 男性
- 87歳女性
- 70歳男性
- 89歳男性
- 不明 女性
- 53歳男性

過去5年間の市町村別救急活動状況（令和2年～令和6年）

		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
米子市	出動件数	6,749	7,008	7,920	8,380	8,404
	搬送人員	6,292	6,529	7,358	7,816	7,784
境港市	出動件数	1,342	1,476	1,684	1,839	1,859
	搬送人員	1,284	1,391	1,596	1,732	1,772
日吉津村	出動件数	152	152	213	163	194
	搬送人員	143	147	203	156	186
大山町	出動件数	802	822	894	913	964
	搬送人員	749	764	838	863	899
南部町	出動件数	388	450	480	528	502
	搬送人員	368	414	450	500	465
伯耆町	出動件数	419	500	526	571	568
	搬送人員	401	463	499	544	539
日南町	出動件数	317	325	320	344	324
	搬送人員	305	307	301	325	303
日野町	出動件数	171	160	219	208	208
	搬送人員	164	158	208	194	195
江府町	出動件数	191	218	186	238	208
	搬送人員	187	206	175	232	195
圏域外	出動件数	13	13	12	6	3
	搬送人員	12	13	9	3	1
合計	出動件数	10,544	11,124	12,454	13,190	13,234
	搬送人員	9,905	10,392	11,637	12,365	12,339

